

全道フットサル選手権大会 2023 U-12の部

札幌地区予選 開催要項

1. 主 旨 北海道のフットサルの普及・振興のため、小学生年代のフットサル大会を開催し、併せてフットサル技術の向上と健康な心身の育成を図ることを目的として、本大会を実施する。
2. 名 称 全道フットサル選手権大会2023 U-12の部 札幌地区予選
3. 主 催 一般社団法人札幌地区サッカー協会、特定非営利活動法人札幌フットサル連盟
4. 主 管 札幌市サッカースポーツ少年団連盟
5. 後 援 札幌市教育委員会、一般財団法人札幌市スポーツ協会
6. 期 日 2022年11月12日(土)11月19日(土)11月23日(水祝)11月26日(土)12月4日(日)
2022年12月10日(土)12月11日(日)12月18日(日)12月24日(土)
7. 会 場 札幌市内体育館(北区・南区・東区・白石区・清田区・厚別区)・石狩市B&G 海洋センター
8. 参 加 資 格
 - (1) フットサルチームの場合
 - ① (公財)日本サッカー協会(以下「JFA」)に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟チームから複数のチームで参加できる。
 - ② 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。
* 上記「加盟チーム」とは、12歳以下の選手により構成されるチームである。ただし、小学校在学中の選手には、この年齢制限を適用しない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (2) サッカーチームの場合
 - ① JFA に「4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟チームから複数のチームで参加できる。
 - ② 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。
* 上記「加盟チーム」とは、12歳以下の選手により構成されるチームである。ただし、小学校在学中の選手には、この年齢制限を適用しない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (3) 複数チームにおける「合同チーム」の本大会参加については、上記(1)又は(2)における参加資格を満たしている場合において認めることとする。ただし、合同チームの複数チーム参加については不可とする。
 - (4) 本地区予選・本大会を通して、選手は他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、又はサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
 - (5) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
 - (6) 本大会フットサル登録料を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
 - ① フットサルチームの場合 登録料:2,000 円
 - ② サッカーチームの場合 登録料:4,000 円
 - (7) 複数チーム参加の条件
 - 2チーム参加・・・6年生が10名以上登録されていること。
 - 3チーム参加・・・6年生が15名以上登録されていること。
 - 4チーム参加・・・6年生が20名以上登録されていること。
9. 参加チーム 参加チームは、11月7日(月)までに札幌地区予選の大会参加料を振り込み、参加申込書を提出したチームとする。
10. 大会形式 (1) 予選リーグは 1 ブロック3チームを基本としてリーグ戦を行い、各ブロックの1位のチー

ムが決勝トーナメントに進出する。

- (2) 新型コロナウイルス感染症(以下「感染症」という。)の対策上、大会形式を変更する場合がある。
- (3) リーグ戦順位の決定
勝点(勝利3点、引き分け1点、敗戦0点)の合計が多いチームを上位とし、順位を決定する。ただし、勝点合計が同一の場合は、次の各号の順序により決定する。
 - ① 当該チーム内の対戦成績
 - ② 当該チーム内の得失点差
 - ③ 当該チーム内の総得点数
 - ④ グループ内の総得失点差
 - ⑤ グループ内の総得点数
 - ⑥ 抽選

11. 競技規則

大会実施年度のJFAフットサル競技規則(2022/2023)を適用する。

12. 競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

- (1) ピッチ
 - ・大きさ:サイズは原則として、32m×16m(体育館の仕様による)
 - ・センターサークル:半径2.5m
 - ・ペナルティーエリア四分円の半径:5m
 - ・ペナルティーマーク:5m
 - ・8m マーク:8m
 - ・交代ゾーンの長さ:4m
 - ・タイムキーパーの机の前のエリア:ハーフウェーラインの両端からそれぞれ4m
- (2) 守備側競技者のボール等から離れる距離
 - ・フリーキック:4m
 - ・コーナーキック:4m
 - ・キックイン:4m
- (3) 使用球は、フットサル3号球ボールとする。
- (4) 競技者の数
 - ・競技者の数:5名
 - ・交代要員の数:10名以内
 - ・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数:2名以内
- (5) ベンチに入ることの出来る人数は、14名以内(交代要員10名、役員4名以内)とする。
- (6) 棄権試合の戦績は、0-5とし、そのチームは不戦敗となる。
- (7) ユニフォーム
 - ① フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
 - ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - ③ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
試合の勝者を決定する、いわゆるPK戦においても上記同様の対応とする。
尚、ケガや退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在でかつ準備が整っていない場合、主審の判断により、ゴールキーパーのユニフォームを前述以外のシャツ(ビブスなど)で代用することができる。
 - ④ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - ⑤ 選手番号については1から99までの整数とし0は認めない。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
 - ⑥ ユニフォームへの広告表示については、(公財)日本サッカー協会の承認を受けて

いる場合のみこれを認める。尚申請書のコピーを会場に持参すること。ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。

⑦ その他、ユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規程に則る。

(8) 靴
キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)なお、チーム役員にも適用する。

(9) ビブス
交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

(10) 試合時間
予選リーグ・決勝トーナメントとも、20分間(各10分からなる2つのピリオド)のランニングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは2分間とする(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始前まで)。

ただし、代表決定戦については、16分間(各8分からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは、3分間とする。(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始前まで)。感染症予防の観点から、全試合、ハーフタイムでのベンチの移動は行わず、各ピリオドで自チームが攻めるゴールを変えず、エンドを変えることはしない。

出場チーム数により試合時間を変更する場合がある。

(11) 試合の勝者を決定する方法(試合時間内で勝者が決しない場合)

① 予選リーグにおいては、引き分けとする。

② 決勝トーナメントにおいては、PK方式により勝敗を決定する。ただし代表決定戦は6分間(各3分からなる2つのピリオド)の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは3分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

(12) タイムアウトは代表決定戦のみ適用する。

13. 懲 罰

(1) 本大会は、JFAが定める懲罰規程に基づき、本大会に係わる懲罰問題を処理するため大会規律委員会を設置する。

(2) 本地区予選において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

(3) 本地区予選期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

(4) 前項により出場停止処分を受けたとき、本地区予選終了時点で警告の累積が1回のときの警告の累積は消滅する。

(5) 本地区予選終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合(ただし全道フットサル選手権大会出場チームはこの全道大会)にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。

(5) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会規律委員会が決定する。

14. 参加申込

(1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手20名、役員4名とする

(2) 複数チームは必要事項を記入し、10月17日(月)までに、代表理事を通しフットサル委員長、高橋までメールにて提出すること。

15. 参加料等

(1) 以下の参加料2022年11月7日(月)までに納入すること。

① フットサルチームの場合

参加料 15,000円(本大会登録料 2,000円+札幌フットサル連盟登録料 500円を含む)

2チーム参加の場合・・・30,000円 3チーム参加の場合・・・45,000円

② サッカーチームの場合

参加料 17,000円(本大会登録料 4,000円+札幌フットサル連盟登録料 500円を含む)

2チーム参加の場合・・・34,000円 3チーム参加の場合・・・51,000円

(2) 振込先

北海道銀行 西野支店 普通 0872107

札幌市サッカースポーツ少年団連盟 石崎民枝

※個人名での振込はチーム名を判別できません、チーム名を必ず明記すること。

16. 組合せ 組合せは、札幌市サッカースポーツ少年団連盟事務局において抽選し決定する。
17. 帯同審判 (1) 各チームは、4級以上の公認フットサル審判員を1チームにつき2名以上帯同させること。審判の不帯同は認めない。
(2) 帯同審判は、役員と兼ねることができる。
18. 監督会議 日時:試合当日各会場で行う。
19. 表彰及び閉会式 (1) 札幌地区代表チームに表彰状を授与する。
(2) 表彰式並びに閉会式は、決勝戦終了後試合会場で行う。
20. 負傷及び事故の責任 (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
(2) 参加選手はスポーツ安全協会傷害保険(第1種A)もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。
21. その他 (1) 本大会は、大会期間を通じて、札幌市サッカースポーツ少年団連盟理事長が感染対策責任者を務め、会場担当者が会場感染対策担当者を務め、チーム役員1名は感染対策担当者を務める。選手、チーム役員・審判員・大会運営役員など会場にいる全ての者は、会場感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に各チームの感染対策担当者とのミーティングを実施する。
(2) 本大会は、感染症予防対策のため無観客で実施する。会場には、選手、チーム役員、チーム引率者(3名以内)、審判団、大会運営等関係者のみが入ることが出来る。
(3) 新型コロナウイルス感染症対策については、別に定める「感染症対策マニュアル」を遵守すること。なお、今後の行政による指示や対応によっては、本大会を中止する場合がある。
(4) 各試合競技開始時刻の45分前に、両チームの監督及び審判員とミーティングを行う。両チームのユニフォームの決定、メンバー提出用紙の回収、諸注意事項の説明等を行う。
(5) 各チームの登録選手は、原則としてJFA発行の選手証を監督会議および試合会場に持参しなければならない。ただし、写真添付により顔の認識ができるものであること。
※選手証とは KICKOFF から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
(6) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。
(7) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
(8) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
(9) 開催要項に記載のない事項については、(一社)札幌地区サッカー協会第4種委員会にて決定する。
(10) 札幌地区代表8チームには、2023年3月11日(土)~2023年3月12日(日)北ガスアリーナ札幌46で開催される全道フットサル選手権大会の出場を義務づける。

以上